

軽井沢絵本の森美術館 2023年 夏展 「童話のなかのアンデルセン」

会期：2023年6月23日（金）～2023年10月9日（月）

「おやゆびひめ」や「人魚姫」などの童話で知られる、H.C.アンデルセン。彼の童話は「アンデルセン童話」と呼ばれ、世界中で親しまれています。アンデルセンの最期は、多くの人に惜しまれながら、祖国デンマークの国葬によって送られました。

アンデルセンは自伝のなかで、自身の人生を「一編のうつくしいメルヘンだった」としています。この言葉を象徴するかのように、アンデルセン童話のなかには、彼の幼少期の思い出や見聞きした風景、昔話などが散りばめられています。例えば「雪の女王」にはアンデルセンの両親の記憶が、「おやゆびひめ」にはアンデルセンがお話を語る時の語り口調が色濃く表れています。

さらにアンデルセン童話には、幼少期の思い出の他にも、すずの兵隊やコマなどのおもちゃ、植物や虫など、日常に存在する様々なものが登場します。ここからは、アンデルセンが自身の記憶や日々の生活のなかに童話の種を見つける鋭い観察眼を備えていたことがわかります。

本展では、様々なアンデルセン童話を近現代の画家のイラストレーションとともにご紹介します。さらに、童話の1つ1つにアンデルセンのエピソードも添えています。童話のなかに、アンデルセンの人生や自身をとりまくものにやさしいまなざしを向けるアンデルセンの姿を感じていただけたら幸いです。



北見葉胡画『おやゆびひめ』
©2007 Yoko Kitami

【企画展概要】

タイトル	2023年夏展「童話のなかのアンデルセン」
会期	2023年6月23日（金）～2023年10月9日（月）
場所	ムーゼの森 軽井沢絵本の森美術館 第2展示館
開館情報	<ul style="list-style-type: none"> ◆開館時間 9：30～17：00（最終入館は閉館の30分前） ◆休館日 火曜日 ※7月～9月は無休 ◆入館料 大人950円、中・高生600円、小学生450円、小学生未満無料 <p>【イルツおもちゃ博物館とのセット券】大人1,400円、中・高生900円、小学生650円、小学生未満無料</p>

軽井沢絵本の森美術館 2023年 夏展 「童話のなかのアンデルセン」

プレスリリース

会期：2023年6月23日（金）～2023年10月9日（月）

展示の見どころ

・北見葉胡『おやゆびひめ』（蜂飼耳 訳、2007年、偕成社）の原画を展示

本展では、2007年に出版された、北見葉胡氏『おやゆびひめ』（蜂飼耳訳、2007年、偕成社）の原画を12点展示しています。

『おやゆびひめ』は、1835年に出版された童話で、アンデルセンの初期の童話の一つです。『おやゆびひめ』には、アンデルセンがお話を語るときの語り口調が、最もよく表れているとされています。

アンデルセンは生涯家を持たず、ホテルや知人、友人の家に宿泊することが多くありました。そのなかで、家庭の子どもたちに物語を語る機会もあったようです。アンデルセンは次第に、もっと子どもたちを喜ばせるにはどうしたらよいか、と考えるようになります。そして、自分がお話を語るときの口調を、文字に残すことを思いつきます。これが、童話の書ききっかけになりました。アンデルセンがどのようにお話を語っていたのか想像しながら、北見氏の『おやゆびひめ』の原画を鑑賞していただけましたら幸いです。



▲『おやゆびひめ』の原画を展示している展示室

【北見葉胡氏 プロフィール】

神奈川県出身の画家・絵本作家。武蔵野美術短期大学を卒業し、現在は主に個展・絵本・装画等で活動している。

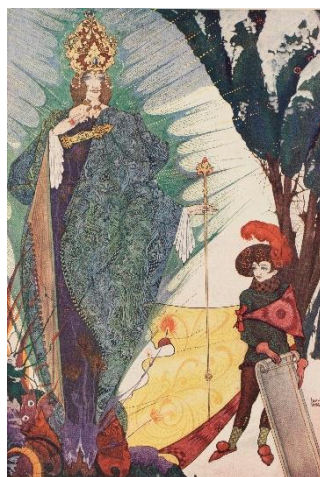
2005年に『タマリンとポチロー』（講談社）でポローニャ国際絵本原画展入選、2009年に『ルウとリンデン たびとおるすばん』（小手鞠のい 作、講談社）でポローニャ国際児童図書賞を受賞、2015年に『マッチ箱のカーニャ』（白泉社）でポローニャ国際絵本原画展入選など、精力的に活動。

その他の著作に『マーシカちゃん』（2020年、アリス館）『花ぬりえ絵本 不思議な国への旅』（2023年、講談社）など、装画に『安房直子コレクション』（2004年、偕成社）『はりねずみのルーチカ』シリーズ（かんのゆうこ 作、講談社）などがある。

・さまざまなアンデルセン童話と、童話にまつわるエピソードを紹介

様々なアンデルセン童話を、近現代の画家のイラストレーションとともにご紹介しています。また、童話の一つ一つにあらすじをつけており、初めて出会う童話でも楽しめます。あらすじと合わせて、童話にまつわるアンデルセンのエピソードなども添えており、アンデルセン童話をより深く理解できる構成になっています。

本展を通して、改めてアンデルセン童話を読み、その奥深さを味わっていただけたら幸いです。そして、童話のなかに残っている、アンデルセンの人生を感じていただけたらと思います。



（左）ハリー・クラーク画「雪の女王」
『Fairy Tales by Hans Christian Andersen』1916年
（右）W.H.ロビンソン画「人魚姫」
『Hans Andersen's Fairy Tales』1913年

【お問い合わせ先】

ムーゼの森 軽井沢絵本の森美術館 【TEL】0267-48-3340【E-mail】info@museen.org
〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 182（ムーゼの森） FAX：0267-48-2006
企画展特集サイト <http://museen.org/event/>